

ダルコ・ラドヴィッチ研究室 都市公共空間における人々の自発的な利用介入に関する調査 自由が丘九品仏の事例調査

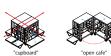
目的

自由が丘九品仏側緑道にて都市調査パビリオンを設置し、緑道空間に滞在する人々と緑道空間のデータを収集し、都 市の質を探ることを目的とした調査である。

調査に使われたパビリオンは都市の公共空間における様々な役割を果たし、場所ごとのコンテクストと要求に応え得 るものになっている。









・マッピング ・アンケート調査 ・インタビュー

EEG による測定

パビリオンの機能 ・棚

・ベンチ ・サインボード

・意見 ・ショーケース

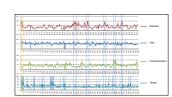
・展示



共同研究 + 満倉研究室

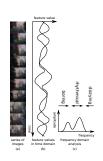
EEG (Electoroencephalogram) を用いた人の脳波測定





EEG を身につけて通りや街を歩くことによって、建物のファサードや周囲の環境の変化に伴う脳波の変化を測定すること ができる。測定された脳波からは、interest, like, concentration, stress といった脳波の変化がグラフとして表示される。

共同研究 🕂 矢向研究室



アイトラッカーによって人の視線を追い、ど の場所をどれだけの時間見ているか測定するこ とができる。

視覚情報を伝えるための高度なネットワーク 技術を駆使して調査を行い、都市で過ごしてい る人々が何をどれだけの時間見ているのかを知 る上で、非常に有効である。





